

令和7年4月28日

赤穂市教育委員会 様

公益財団法人赤穂市文化とみどり財団

理事長 藤 池 俊

令和6年度 赤穂市立歴史博物館の事業報告について

赤穂市立歴史博物館指定管理者管理運営基準に基づき、令和6年度管理委託に係る事業について別紙のとおり報告いたします。



ウ 歴史博物館(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

開館日数 309日

区分	常設			展			特別			展			合計	
	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館料(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)
個人	大人	200	10,934	2,186,800	大人	300	702,600	2,342	13,276	2,889,400				
	小中学生	100	490	49,000	小中学生	150	12,000	80	570	61,000				
30人以上	大人	160	3,864	618,240	大人	240	230,400	960	4,824	848,640				
	小中学生	80	193	15,440	小中学生	120	3,840	32	225	19,280				
100人以上	大人	120			大人	180								
	小中学生	60			小中学生	90								
個人 50%	大人	100	545	54,500	大人	150	33,900	226	771	88,400				
	小中学生	50	16	800	小中学生	75	75	1	17	875				
団体 30人以上50%	大人	80			大人	120								
	小中学生	40			小中学生	60								
団体 100人以上50%	大人	60			大人	90								
	小中学生	30			小中学生	45								
100%	大人		1,766		大人			236	2,002					
	小中学生		486		小中学生			110	596					
特別利用券利用者	大人				大人			105	105					
	小中学生				小中学生									
赤穂観光パスポート	通りやんせ		1	(@120×0)	通りやんせ				1					
合計	大人		17,110	2,859,540	大人		966,900	3,869	20,979	3,826,440				
	小中学生		1,185	65,240	小中学生		15,915	223	1,408	81,155				
	計		18,295	2,924,780	計		982,815	4,092	22,387	3,907,595				

特別展、企画展等の開催

歴史博物館

特別展

期 間	令和6年11月23日(土・祝)～令和7年1月28日(火)
名 称	「近世の赤穂―大年寄前川家の史料にみる―」
内 容	大年寄として赤穂の行政を支えた前川家の池田・浅野・森家のもとでの活躍を取り上げ、前川家に伝わった古文書をもとに江戸時代における赤穂の歴史を紹介
講演会開催	日時：令和7年1月19日(日) 演題：「池田忠継と忠雄～池田輝政の子どもたち～」 講師：岡山県立博物館副館長 内池英樹
入館者数	4,092人

常設展示

令和6年4月1日(月)～7月23日(火)
義士コーナー展示「月岡芳年の忠臣蔵浮世絵」
幕末から明治時代にかけて活躍した浮世絵師、月岡芳年の作品41枚を展示・公開

令和6年7月25日(木)～令和7年3月18日(火)
義士コーナー展示「立版古の世界」
切組灯籠や組上げ灯籠、起し絵ともいわれる錦絵を使ったおもちゃ絵や忠臣蔵を題材にした作品 錦絵36枚 完成品7点を展示・公開

令和7年3月20日(木・祝)～3月31日(月)
義士コーナー展示「蔦重と忠臣蔵」
喜多川歌麿をはじめ多くの浮世絵師を見出した蔦重に関する作品22点を展示・公開

夏休み企画

期 間	令和6年8月10日(土)・16日(金)
名 称	勾玉づくり体験教室
内 容	古代に行われていた勾玉づくりを通じて昔の様子を理解し、歴史に興味をもってもらうために開催
参加人数	8月10日(土)19人・16日(金)22人

期 間	令和6年7月20日(土)～9月1日(日)
名 称	夏休みスタンプラリー&クイズ
内 容	夏休みに来館した小・中学生等に赤穂の歴史文化により興味をもつ

てもらうため、館内でスタンプラリーを行い赤穂の歴史に関する
問題を出題

参加人数 426人

文化図書等の発行事業

(1) 特別展図録の発行

- ・歴史博物館特別展図録の発行

発行日 令和7年2月28日

図書名 「近世の赤穂—大年寄前川家の史料にみる—」

発行部数 600部

(2) ミュージアムグッズの製作

製作月	グッズ名	製作数	備考
令和7年3月	「忠臣蔵扇子 討入りの場」	320本	歴史博物館

赤穂市立歴史博物館の管理運営に関する業務の収支決算書
(令和6年度分)

(単位:円)

収 入

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
歴史博物館管理収入	27,020,000	25,886,283	1,133,717	歴史博物館管理収入
施設利用料収入	3,840,000	3,907,595	△ 67,595	施設利用料収入
合 計	30,860,000	29,793,878	1,066,122	

支 出

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
人件費				
給料手当支出	12,542,000	12,357,271	184,729	職員給 3人、諸手当
福利厚生費支出	2,662,000	2,507,443	154,557	共済費、社会保険料外
小 計	15,204,000	14,864,714	339,286	
物件費				
旅費交通費支出	51,770	34,680	17,090	旅費
消耗品費支出	657,000	653,630	3,370	施設管理用消耗品外
燃料費支出	43,000	38,513	4,487	ガソリン代
会議費支出	3,000	2,894	106	来客賄
印刷製本費支出	382,080	381,485	595	特別展ポスター・チラシ印刷外
光熱水費支出	5,771,000	5,151,550	619,450	電気代外
修繕費支出	982,930	982,930	0	高圧コンデンサ更新工事 外
通信運搬費支出	337,000	293,079	43,921	電話料外
保険料支出	76,000	65,520	10,480	自動車損害保険料外
広告料支出	182,000	181,500	500	特別展広告掲載料
手数料支出	14,000	13,130	870	開閉器操作費用外
委託料支出	5,613,520	5,613,520	0	清掃管理業務委託 1,477,740 特別展業務委託 469,287 建物管理業務委託外 3,666,493
使用料賃借料支出	1,278,000	1,269,927	8,073	特別展展示ケース賃借料外
原材料費支出	5,000	0	5,000	
消耗什器備品費支出	205,700	205,700	0	施設備品
負担金支出	17,000	14,685	2,315	兵庫県博物館協会負担金
雑費支出	37,000	26,421	10,579	諸雑費
小 計	15,656,000	14,929,164	726,836	
合 計	30,860,000	29,793,878	1,066,122	

赤穂市立歴史博物館指定管理者自主事業収支決算書
(令和6年度分)

(単位:円)

収入

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
図書発行等事業収入	780,050	547,300	232,750	図書頒布収入
赤穂市補助金収入	0	207,655	△ 207,655	財団(一般分)補助金
合 計	780,050	754,955	25,095	

支出

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
図書発行等事業費				
印刷製本費支出	739,050	738,320	730	特別展図録、忠臣蔵扇子
手数料支出	41,000	16,635	24,365	図書等販売手数料
合 計	780,050	754,955	25,095	

令和6年度 指定管理者管理運営事業評価シート

1 評価対象施設

公の施設の名称	赤穂市立歴史博物館				
所在地	兵庫県赤穂市上仮屋916番地1				
指定管理者	団体名	(公財)赤穂市文化とみどり財団	指定期間	開始日	令和6年4月1日
	所在地	赤穂市中広864番地		終了日	令和9年3月31日
選定方法	公募・ 非公募		評価実施年	指定期間3年のうち1年目	
施設設置目的	郷土の歴史に関する資料の収集、保管、調査研究及び展示等を行い、市民の教養の向上、文化の発展に資するため歴史博物館を設置する。				
主な実施事業	(1) 実物、複製、模写、模型、図書、フィルム等の資料を収集し、保管し、及び展示すること。 (2) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。 (3) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。 (4) 講演会、講習会、展覧会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。 (5) 他の博物館、学校その他の関係機関と連絡し、及び協力すること。 (6) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事業				

2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	目標	R6実績	目標	R7実績	目標	R8実績
a 利用者数	人	29,000	22,387	29,000		29,000	
b 稼働率	%		77				
c							
d							
e							

3 指定管理業務にかかる収支状況

区分		令和6年度決算 (指定期間1年目)	令和7年度予算 (指定期間2年目)	令和8年度予算 (指定期間3年目)
収入計	A	30,548,833	33,079,000	33,079,000
指定管理料		25,886,283	27,180,000	27,180,000
利用料収入	C	3,907,595	5,000,000	5,000,000
自主事業収入		754,955	899,000	899,000
その他		—	—	—
支出計	B	30,548,833	33,079,000	33,079,000
事業費		29,793,878	32,180,000	32,180,000
内、人件費	D	14,864,714	15,471,000	15,471,000
内、再委託料	E	5,613,520	6,722,000	6,722,000
自主事業費		754,955	899,000	899,000
事業収入	A-B	0	0	0
利用料比率	C/A	12.8%	15.1%	15.1%
人件費率	D/B	48.7%	46.8%	46.8%
再委託費比率	E/B	18.4%	20.3%	20.3%
・支出欄「D・E」は代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。 ・事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。また、右欄には、次年度予算を記載する。				
補足説明				

4 事業評価

評価区分	評価項目	自己評価	所管評価	
① サービスの履行	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	第三者への委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	B	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守している。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	A
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	A	A
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	A	A
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
	緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B	
	緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行っている。	B	B	
財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B	
総括	①サービスの履行に関する評価	B	B	
② サービスの質	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免、還付等の受付業務を適切に行っている。	A	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	事業運営	事業計画に即し、必須事業を実施している。	A	A
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	A	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、維持管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	A	A
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。	B	B
	事業評価	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B
利用者の利便性向上を図るため、自己評価を実施し、利用者等に公表している。		B	B	
提案事項	指定管理者の提案事項については、市と協議し、提案のとおり実施している。	B	B	
利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	C	C	
総括	②サービスの質に関する評価	B	B	
③ 安定性	経理事務	専用の口座等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	A	A
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	③安定性に関する評価	B	B

所見 (成果、課題等)	【自己評価】 入館者数は新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の状況にかなり戻ってきているが、令和6年度も依然としてコロナ前の水準までには至っていなかった。しかしながら、以前に比べると団体やグループの来館者が増加してきたことに加え、特別展「近世の赤穂～大年寄前川家の史料にみる～」展の期間中には多くの来館者があった。また、今年度はミュージアムキャラクターを作成してPRに活用したり、夏休み期間中に勾玉づくり体験教室を開催するなど新たな取り組みも行った。今後も引き続き、より魅力ある展示に努めるとともに、効果的な手法を活用した情報発信等を行い入館者の増加につなげたい。		
	【所管評価】 適切な管理運営を行い、特別展や体験教室を実施するなど、利用者増に努めている。引き続き、広報やSNSを活用した積極的な情報発信に努め、利用者増への取り組みの充実を図るとともに、利用者の安全確保と、適切な施設管理に努められたい。		
前年評価	B	総合評価	B

※評価基準

自己評価・所管評価	A	優良	協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
	B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。
総括	A	優良	評価項目の評価が全てB以上であり、かつAが過半数である。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	評価項目の評価の内、Cが1割以上含まれる。
総合評価	A	優良	自己評価、所管評価の「総括」にCが含まれず、かつAが過半数以上ある。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	自己評価、所管評価の「総括」にCが2つ以上含まれる。